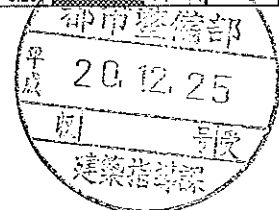


スコアシート	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
◎建築物の環境品質性能						2.7
Q-1 室内環境			0.40			2.8
1 音環境		3.8	0.15	3.1	1.00	3.3
1.1 騒音				3.0	0.29	
1 1 騒音レベル				3.0	1.00	
1.2 遮音	T-2防音サッシ使用	5.0	0.67	4.1	0.60	
1 1 開口部遮音性能		5.0	1.00	5.0	0.30	
2 1 界壁遮音性能				4.0	0.30	
3 1 界床遮音性能(軽負衝撃源)				4.0	0.20	
4 1 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.9	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.33	1.0	0.21	
2 温熱環境		1.8	0.35	1.6	1.00	1.6
2.1 室温制御		1.8	0.50	1.6	0.50	
1 1 室温設定		1.0	0.60	1.0	0.60	
3 1 外皮性能		3.0	0.40	3.0	0.40	
4 1 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御		2.0	0.20	2.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		2.7	0.25	3.3	1.00	3.0
3.1 昼光利用	エントランス: C=2.0, 住居部: C=14	4.2	0.30	4.0	0.30	
1 1 昼光率		5.0	0.60	5.0	0.60	
2 1 方位別開口				3.0	0.30	
3 1 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.30	
2 1 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
1 1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策	内装材、塗建材はF☆☆☆☆の等級付けのものを使用	5.0	0.60	5.0	0.63	
1 1 化学汚染物質		5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 1 自然換気性能				3.0	0.33	
3 1 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						
1 1 CO ₂ の監視						
2 1 喫煙の制御						
Q-2 サービス性能			0.30			2.6
1 機能性		2.8	0.40	2.2	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	3.0	0.60	
1 1 広さ・収容性				3.0	1.00	
2 1 高度情報通信設備対応						
3 1 バリアフリー計画	ハートビル法の利用円滑化誘導基準(最低限レベル)を満たしている。	4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.40	1.0	0.40	
1 1 広さ感・景観				1.0	0.60	
2 1 リフレッシュスペース						
3 1 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.60	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31			2.9
2.1 耐震・免震		3.4	0.48			
1 1 耐震性		3.0	0.80			
2 1 免震・制振性能	免震構造を採用している。	6.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33			
1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29			
2 1 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12			
3 1 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29			
4 1 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29			
2.4 信頼性		1.6	0.19			
1 1 空調・換気設備		1.0	0.20			
2 1 給排水・衛生設備		1.0	0.20			
3 1 電気設備		1.0	0.20			
4 1 機種・配管支持方法		1.0	0.20			
5 1 通信・情報設備	電気機械室は1階に計画している。	4.0	0.20			



3 対応性・更新性			2.2	0.29	3.1	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり					3.2	0.50	
1 階高のゆとり					4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.2	1.00			
1 空調配管の更新性			1.0	0.17			
2 給排水管の更新性			2.0	0.17			
3 電気配線の更新性			1.0	0.11			
4 通信配線の更新性			3.0	0.11			
5 設備機器の更新性			3.0	0.22			
6 バックアップスペース			3.0	0.22			
Q-3 室外環境(敷地内)				0.30			2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
UR-建築物の環境性能評価							2.9
LR-1:エネルギー				0.40			3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		環境に配慮した照明器具の設置	4.7	0.40			4.7
4 効率的運用							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR-2:資源・マテリアル				0.30			2.6
1 水資源保護			2.2	0.16			2.2
1.1 節水			1.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム			3.0	1.00			
2 雑排水利用システム							
2 低環境負荷材			2.7	0.85			2.7
2.1 資源の再利用効率			2.3	0.35			
1 躯体材料の再利用効率			3.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率			1.0	0.33			
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04			
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08			
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18			
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18			
2.6 フロン・ハロンの回避			3.0	0.18			
1 消火剤		ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33			
2 断熱材			3.0	0.33			
3 冷媒			3.0	0.33			
LR-3:敷地外環境				0.30			2.3
1 大気汚染防止			1.0	0.10			1.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.10			3.0
2.1 騒音			3.0	0.33			
2.2 振動			3.0	0.33			
2.3 悪臭			3.0	0.33			
3 風害、日照障害の抑制			3.0	0.15			3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70			
3.2 日照障害の抑制			3.0	0.30			
4 光害の抑制		外壁の反射は少ない	4.0	0.10			4.0
5 温熱環境悪化の改善			1.0	0.30			1.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25			3.2
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25			
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
6.3 交通負荷抑制		適切な量の駐車・駐輪スペースの確保	4.0	0.25			
6.4 廃棄物処理負荷			3.0	0.25			

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅				面積換分
		50076	㎡			総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3.0				3.0
3	設備システムの ERRによる評価					4.7
	高効率化	4.7				
3.1	空調設備					
3.2	換気設備					
3.3	照明設備	5.0				
3.4	給湯設備					
3.5	昇降機設備	3.0				

